

令和7年度（令和6年度対象）

教育委員会事務事業の点検評価

報 告 書

令和7年11月

小平町教育委員会

はじめに

1 点検評価の趣旨

本町教育委員会では、小平町の将来を担う人づくりのため、第6次小平町総合計画第3編第2章で個々の人生を豊かにすることを目指し、学ぶ力と生きる力を育む教育を実践するための具体的な計画を列記しております。

また、小平町の教育の基本理念である、「ふるさとを愛し、ふるさとを拓く、心豊かな人を育む小平の教育」を目指し、「小平町教育振興計画」に基づき、地域における教育の実情と課題を踏まえ、家庭・地域・学校・幼稚園が相互に連携を図り、園児、児童、生徒の学力、体力の向上にむけた事業を推進していくこととしています。

こうした取組を進めるにあたって、各施策・事業が着実に実施されているか、効果的に行われているかなどを点検・評価していくことが必要であると考え、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、「教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価」に取り組んでいます。

そのため、本町教育委員会といたしましても法の趣旨に則り、町民の皆様からなお一層のご理解とご協力をいただく中で、今後の効果的な教育行政の推進に資するために、令和6年度の教育委員会実施事務事業の点検・評価を行い、このたび報告するものであります。

2 点検評価の実施方法

点検及び評価対象とする事務事業は、第6次小平町総合計画に記載されている教育関連の施策体系に基づきながら主要事業で重要な課題に係るものの管理課事業については、7項目19事業に対して、また社会教育事業については、小平町第7次社会教育中期計画による分類とし、令和6年度小平町社会教育推進計画書の各事業13項目58事業について検証を行っています。

— 目 次 —

□ 令和6年度事務事業点検評価結果

「小平の未来を拓く人材の育成」	5
◎ 教育委員会活動	5
○教育委員会運営	5
◎ 幼児教育の充実	5
○幼稚園運営	5
○幼稚園教育振興	6
○子育て支援対策との連携事業	6
○開かれた幼稚園づくり	6
◎ 小・中学校教育の充実	7
○小・中学校運営	7
○小・中学校教育振興	8
○就学援助対策	8
○ALT配置事業	8
○特別支援教育の充実	9
「豊かな心と健やかな体の育成」	10
◎ 健やかな体の育成	10
○健康安全対策	10
○食育教育推進	11
○共同調理場運営	12

「魅力ある学校づくりの推進」	13
◎ 学校経営の充実	13
○学校間連携の強化	13
○学校施設・設備の充実	13
○スクールバス運行管理事業	14
◎ 教職員の資質・能力の向上	14
○教職員研修の充実	14
○教員住環境整備	15
「地域全体で学びを支える体制づくり」	15
◎ 開かれた学校づくりの推進	15
○開かれた学校づくり	15
【その1】「町内外に出会いの輪を広げ、おびらの未来を担う志を持った人や生涯にわたり活躍する人を育てます」	16
◎ 幼児教育	16
○子育てサロン	16
○うちの子一番クラブ	16
○子育てサポーター	16
○幼児陶芸教室	17
◎ 少年教育	17
○おびらっ子クラブ	17
○学社融合事業「化石発掘体験」	17
○子ども書初め大会	18
○小平町子ども下の句カルタ大会	18
○姉妹都市少年少女交流事業	18
○少年の主張	19

○地域学校協働本部	19	○鯨番屋まつり	24
◎ 家庭教育	19	○文化財をめぐる諸計画の策定	25
○あいさつ運動	19	○文化財の保護・活用及び郷土資料の収集	25
○早寝早起き朝ごはん運動	20	○郷土芸能の伝承活動	25
○子育て支援ネットワーク会議	20	○古生物化石の収集保存	25
○子育て応援イベント支援事業	20	○化石や文化財に親しむ事業	26
◎ 青年教育	21	【その3】「オンリーワンの才能を磨くとともに芸術文化を生活の一部として楽しむ豊かな感性をもった人を育てます」	26
○おびら二十歳を祝う会	21	◎ 図書室	26
○担い手育成事業	21	○図書環境の整備・充実	26
◎ 成人教育	21	○子ども読書活動推進計画	26
○生涯学習ボランティアバンク	21	○ブックスタート	27
○生涯学習セミナー	22	○絵本の読み聞かせ・おはなし会	27
○転入者向け情報チラシ	22	○児童・生徒が図書に親しむ事業	27
○おびらふるさと塾	22	○読書のつどい	28
○英会話教室	23	◎ 文化活動	28
○おびら未来塾	23	○小平町文化協会事業	28
◎ 女性教育	23	○町民文化祭(舞台・展示)	28
○小平町女性会議	23	○児童生徒作品展	29
○美味しい地物に感謝祭(後援事業)	23	○町民俳句大会	29
○女性レクリエーション交流会	24	○登り窯・陶工房活用事業	29
◎ 高齢者教育	24	◎ 舞台芸術	30
○世代間交流事業	24	○舞台芸術鑑賞事業	30
【その2】「ふるさとに誇りと愛着をもつ人を育てます」	24	○幼児芸術鑑賞事業	30
◎ 文化財	24	○児童生徒鑑賞事業	30

【その4】「子どもから高齢者まで性別や障がいの有無に関係なく一生涯スポーツを楽しむ人を育てます」	3 1
◎ スポーツ（幼児・少年・青年）	3 1
○子ども向けスポーツ教室の実施	3 1
○スポーツ少年団の育成	3 2
○海洋スポーツ奨励事業	3 2
○B&Gスポーツ大会（剣道の部・水上の部）	3 2
◎ スポーツ（全年齢）	3 3
○かろやかクラブ	3 3
○ウォーキング教室	3 3
○ボルダリング教室	3 3
○小平町民健康マラソン大会	3 4
○B&G杯各種大会	3 4
○小平町スポーツ協会事業	3 4
○指導者の養成	3 5
※ 資 料	3 6～4 0

点 検 評 価 結 果

令和6年度 事務事業点検評価結果

(所管：管理課総務係・学校教育係)

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
小平の未来を拓く人材の育成	教育委員会活動	教育委員会運営	<p>★教育委員会は、政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、町長と教育委員会の連携強化が求められており、町長からは独立した執行機関として、設置されている。教育長及び委員は町長が議会の同意を得て任命される。</p> <p>★総合教育会議で、首長と協議・調整は行うが、最終的な執行権限は教育委員会に留保される。</p>	<p>□委員会活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 7回 ・学校行事～年間 34回 ・教育行事～年間 74回 ・地域行事～年間 12回 ・委員研修～年間 3回 <p>■社会情勢の影響を受けやすい教育環境の状況を常に把握し、委員会として教育政策論議の活性化を図ることが求められており、積極的に学校行事に参加し教育関係施設及び学校運営の実情等現状把握を積極的に確保していきたい。</p>	委員会活動のより一層の活性化を図る
	幼児教育の充実	幼稚園運営	<p>★町立幼稚園は小平・鬼鹿の2園が設置され、満3歳以上の47名の園児が就学前の団体生活や他人との協調意識を学ぶ場として、機能している。</p> <p>☆施設については、小平が平成12年、鬼鹿が平成2年に改築されている。</p>	<p>□園児数は少子化の影響を受け、年々減少傾向であるが、その設置目的に添った指導ができており、小学校へ入学後も協調姿勢や授業姿勢等において、各小学校から評価を得ている。</p> <p>□保護者と行事等を通じての協力連携した体制がとられており、健全な運営が行われている。</p> <p>■保護者・地域の幼稚園に対するニーズも多様化しており、常に新しい視点・観点から保育手法の改善を要する。</p>	幼稚園教育のあり方を再点検及び職員の配置体制などを再検討し安心安全な運営継続を図る。

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
小平の未来を拓く人材の育成	幼児教育の充実	幼稚園教育振興	<p>★幼稚園教育は、遊び保育を主体として集団・社会性の習得化や時間のルール化などの教育を行っているが、地域内の人や資源を活用しての自然・社会体験型の学習も多くなってきている。</p> <p>また、学校同様給食も提供しており、決まった給食時間での摂食や給食当番などを通して、食べることの意義も学習できる。</p>	<p>□預かり保育の運用拡大等により、保護者からは信頼を受けており、今後の学校教育上での成長指導のステップを担う立場として、着実な指導を行っている。</p> <p>■今後も、保護者ニーズの把握に努めながら、幼稚園振興を図ることが重要である。</p>	継続
		子育て支援対策との連携事業	<p>★地域全体で子育てを支援するため、平成23年度より保育施設を鬼鹿幼稚園に併設し、満1歳から就学までの安全・安心な育児環境を提供している。また27年度から、幼稚園及びこども園の保育料等を無償化し、また、令和元年10月から預かり保育料と給食副食費も一部無料化している。</p>	<p>□3歳未満児の保育施設を整備することにより、鬼鹿幼稚園と一体となった安全・安心な乳幼児保育事業を実施することができた。</p> <p>■園児数の減少が見られるなかで保育施設は、地域にとって必要な施設であるので、今後の活用促進が課題である。</p>	保護者の意向を反映しながら運営継続
		開かれた幼稚園づくり	<p>★幼稚園評議員制度</p> <p>幼稚園運営に関する地域外部意見を求めるため、小平・鬼鹿幼稚園地域内の有識者を幼稚園評議員として委嘱し、意見を聞く機会を設けることとし、評議員会を開催した。</p>	<p>□評議員制度は地区内意見の集約とともに、幼稚園の外部評価にもつながり、運営改善に大変寄与している。</p> <p>■評議員の確保及び評議員会の複数回開催が課題である。</p>	継続して有効に作用するよう努める

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
小平の未来を拓く人材の育成	小・中学校教育の充実	小・中学校運営	<p>★町立小学校は、小平・鬼鹿の2校が設置され、町内 105 名の児童、中学校は 45 名の生徒が通学しており、それぞれが地域の特性を生かした教育を展開している。</p> <p>★小平小・中学校は、統廃合により小学校が、小平～臼谷・本郷・折真布・寧楽・住吉・達布・大楯を通学区域とし、中学校が小学校通学区に鬼鹿地域を加え、スクールバスにより通学は確保されており、少年団活動や部活動にも支障のない対応となっている。</p> <p>★鬼鹿小学校は、鬼鹿地域を通学区域としており、地域とともに子どもを育てる環境のもとに、様々な学習素材を活用した教育が実践されている。特に複式としての特色を生かした、活動を実施している。</p>	<p>□町内小・中学校は、それぞれの地域並びに保護者と密着した運営や故郷学習などの授業展開を行っており、児童・生徒の安全管理やいじめ・不登校対策にも対応した校内体制により進めている。</p> <p>□校下児童・生徒通学路の安全確保や不審者等対策として、日中の施錠管理など行い、万全を期している。</p> <p>■町所有の各スクールバスに置き去り防止装置を設置し、通学等の安全を確保している。</p> <p>■鬼鹿小学校は児童の減少に伴い、少年団活動の単独構成が困難となり、小平小学校と合同で活動しているが、今後尚一層、連携した取組ができるような支援が必要とされる。</p> <p>□鬼鹿中学校は統合に伴い小平中学校への通学となっているが、生徒数の減少により部活動の合同等の取組等が必要とされる。</p>	<p>町内各学校が連携を強化して運営がなされるよう支援</p> <p>部活動の地域移行検討委員会の適切な運営を図る</p>

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
小平の未来を拓く人材の育成	小・中学校教育の充実	小・中学校教育振興	★令和2年度にGIGAスクール構想により整備した一人一台端末の有効な利活用を図る。	<input type="checkbox"/> 新たにICT環境による学習の基盤となる資質能力の確実な育成が求められており、毎朝の健康チェックや、各教科において授業での活用を実践することができている。 <input type="checkbox"/> ICTを活用した授業形式の多様化、複雑化に対応するため、教員研修の継続は必要である。	継続 継続
		就学援助対策	★従来より、低所得層の家庭及び特別支援学級の児童・生徒の保護者に対し、安心して就学できるよう一定経費の公費負担を行っており、生活困窮による未就学児童・生徒が出ないよう努めている。 (R6実績) 支援内容～給食費・通学用品・学用品等 対象保護者数～小15、中7 支援額～小1,137千円、中898千円 要件～特別支援学級在籍児童生徒世帯、町民税所得割非課税世帯、その他低所得世帯等	<input type="checkbox"/> 就学援助を受ける世帯は年々増加傾向にあるが、学校とも強く連携した中で、町内に未就学児童がないよう万全を期して対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者申請により校長からの提出であるため、申請行為をプライバシー保護の理念に反しないよう慎重を期するとともに、家庭環境を常に把握し、子どもの就学に支障が起きないよう配慮していくことが重要である。	継続
		ALT配置事業	★中学校英語教育の補助として、外国語指導助手を1名配置していたが、小学校で外国語が必須科目になり指導助手を両小学校でも活用している。 R6経費～3,616千円	<input type="checkbox"/> ALTの配置により、中学校での英語力は向上しており、小学校でも配置効果は大きい。 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校における英語学習も、ALTによる役割は重要となっており、教員との連携を高めた指導体制の構築が課題である。	継続

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
小平の未来を拓く人材の育成	小・中学校教育の充実	特別支援教育の充実	<p>★知的・情緒・病弱といった多種多様な障がいを持つ児童・生徒が増えてきており、それぞれの態様に適応した教育の取組が求められることとなり、これらに対応する体制を整える中、町においても平成19年より特別支援連携協議会を設立し、関係機関連携による支援体制を構築してきた。又、特別支援教育支援員を配置し、きめ細かな支援に努めている。</p> <p>「個別の支援計画」を作成する際の一助となる「子どもの成長の記録」を積み重ねていく、子育て支援ファイル「つながー」を全幼稚園児に配布。</p> <p>R6 支援員配置 8 名 (小平小 3 名、小平中 2 名、小平幼、鬼鹿幼、鬼鹿小各 1 名)</p> <p>R6 特別支援学級 小平小～4 学級 4 名 (知的 1・情緒 1・言語 1・病弱 1)</p> <p>鬼鹿小～1 学級 1 名 (情緒 1)</p> <p>小平中～3 学級 3 名 (知的 1・情緒 1・言語 1)</p>	<p>□障がいのある子ども達への教育は、個の状態に応じた指導内容が求められており、校内体制の整備が進んだことで、各学校においても的確な支援体制がとられ、在籍児の保護者からも信頼を得た中で進められている。指導にあたっては、普通学級との交流を主体にカリキュラムが構成され、小平高等養護学校コーディネーター等からの指導・助言を得ながら、子どもの成長に向けた学級運営が行われている。</p> <p>■障がいの多様性から、保護者が認識しづらいケースも多々あり、保護者へ障がい態様の認識と個別指導の必要性の理解を得ることが難しい状況もあるため、各保護者への多種多様な障がいの認識と理解を得ることで、家庭での気づきも含め、早期の発見が課題である。</p> <p>■「つながー」の有効活用を図る観点から、幼稚園保護者への説明会を拡充する必要がある。</p>	内容充実させて継続

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
豊かな心と 健やかな体 の育成	健やかな体の育成	健康安全対策	<p>★感染症拡大防止のため児童生徒に感染症に対する予防措置と健康教育を実施している。 感染対策用消耗品：415 千円</p>	<p>□引き続き、感染拡大防止のため各校において、感染拡大防止対策を実施する必要がある。</p>	継続
			<p>★児童・生徒の健康管理は設置者の責務であり、年 1 回の内科及び歯科健診並びに尿検査を実施し、又小・中各 1 年生には心電図検査と翌年度新入学する児童には就学時健診を実施している。町内で勤務する教職員についても、年 1 回の総合健診により健康対策を実施している。 (R6 実績：1,095 千円)</p>	<p>□児童・生徒の健康安全管理は、設置者の義務として法に基づき実施している。また、教職員の健康管理も、雇用主としての責任から実施されている。 ■教職員の健康面での不安が、子ども達に与える影響も大きいことから、健康管理は重要である。</p>	継続
			<p>★各学校には担当学校医の委嘱をしており、校内での健康安全対策上、相談・意見を求められることとしている。 (R6 実績：657 千円)</p>	<p>□各学校では、伝染性疾患の発生時等で指導・助言を得て適宜対応している。 ■学校保健対策上極めて重要である。</p>	継続

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
豊かな心と 健やかな体 の育成	健やかな体の育成	健康安全対策	<p>★児童・生徒が校内において、不慮の事故により怪我等の負傷を負った場合に治療費等の救済を受けるため、日本スポーツ振興センターが取り扱う災害共済制度へ加入している。 (R6実績～140千円)</p> <p>★学校管理下の教育活動を取り巻く様々な賠償問題から児童・生徒と学校を守ることを目的とした賠償責任保険に加入している。 (R6実績～37千円)</p>	<p>□学校における不慮の事故等により、負傷することが増えており、保険互助制度として治療費の保護者負担軽減に役立っている。</p> <p>■怪我のない学校活動に努める必要があるが、万が一における負傷時に医療費補填できる共済制度は有効である。</p> <p>□学校管理下中（教育活動、部活動、校外教育等）における児童・生徒が他の児童又は第三者にあたえた行為等の賠償問題が発生した際に、当該保険に加入することにより児童・生徒及び保護者への一層の安心・安全を確保することに役立っている。</p> <p>■教育活動等における賠償問題が発生しないよう努める必要があるが、万が一問題が発生した際にこの賠償保険は有効である。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p>
		食育教育推進	<p>★学校教育推進上、学習能力の向上に食育教育の重要性が認められ、健康な体が脳の活性化を促すことから、朝食の重要性とともに食育教育が推進されており、給食活動における食の安全教育や地産地消運動を通しての食材本来の美味しさなどを、低学年の頃から覚える必要性から、平成19年度に栄養教諭制度を設け、学校授業としても食育授業時間を確保することとされている。</p> <p>★栄養職員（調理場栄養士兼務）1名が小平小学校に配置され、各学校の要請に応じて指導を行っている。</p>	<p>□平成19年度から栄養教諭が採用配置され、総合学習や給食時間等を活用した食育教育が実施され、子ども達の食や地場産食材に対する認識が変化しており、特に1日3食を中心とした食事が、健康な体と脳を育てる源である意識が芽生えてきた。また、食育推進事業により地域の食に関する意識が高まった。</p> <p>■食育教育として確立されたカリキュラムをいかにして、児童生徒に対して継続して教えていくかが課題である。</p>	<p>継続</p>

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
豊かな心と 健やかな体 の育成	健やかな体の育成	共同調理場運営	<p>★小平共同調理場は、昭和 51 年に設置され、平成 4 年度に現施設が移転改築されたものであり、平成 19 年度末をもって、鬼鹿地区学校給食センターを統合し、現在は小平全町内幼稚園・小・中学校への給食提供を行っている。ただし、米飯持参の補食給食であるが、週 2 日はパン・麺による完全給食となっている。給食費は、食材購入費及び調理用原材料費のみを計算し、保護者負担として、各学校経由での納入としている。</p> <p>R6 実績 1 日食数～205 食 年間配食数～50, 235 食 栄養士～1 名 調理員～5 名 配食方法～各学校・幼稚園に配送委託 運営経費 施設運営維持～15, 193 千円 (町負担) 食材等費～11, 947 千円 (保護者負担) 地元食材購入費 2, 490 千円</p>	<p>□小平共同調理場は、設立当時から米飯持参の補食給食方式として運営されてきているが、子ども達の栄養管理・健康管理面からもその効用は大きく、就学における保護者負担の軽減の観点からも運営意義は大きい。また、施設の管理や衛生面でも効率化が図られ、安全・安心な給食提供を実施している。</p> <p>■施設の規模が、現在要求されている衛生管理面に対応するには手狭となっているため、慎重な調理手順を要するとともに、食材等の取扱いについては、十分な注意が必要である。また、老朽化に伴う施設及び機械設備の更新も計画的に行っていく必要がある。</p> <p>■地産地消奨励として、地場産品の使用を求められ、購入単価及び供給先の確保面から課題となっていたが、平成 27 年度より学校給食における地元産食材の使用率を高め、美味しい旬の食材を取り入れるため、町一般会計にて地元食材購入費を予算措置している。</p> <p>■平成 30 年度から各幼稚園・小・中学校において月 1 回程度、地元産米を使用しての米飯給食を実施、好評を得ている。</p>	<p>衛生面重視と地産食材の使用を考慮しながら運営を継続</p> <p>米飯給食の継続</p>

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	学校経営の充実	学校間連携の強化	<p>★町内各学校長による校長会、教頭による教頭会を教育課題の検討や各学校事情の情報交換並びに町教委指導事項等の確認などを行う経営研究会として組織し、一定の連携した取組が安定するよう指導・支援している。</p> <p>R6 経営研究会運営補助～70 千円</p>	<p>□町内学校長並びに教頭が定期的に協議の場を持ち、学校課題や町課題事項について検討することで、町と学校の連携及び情報の共有化がなされ、適正な学校運営が図られている。</p> <p>■学校間及び教委との連携は重要となるため、活発な協議が期待される。</p>	強化継続
		学校施設・設備の充実	<p>★町内の学校施設は、小平小学校が平成5年度、小平中学校が平成18年度に、鬼鹿小学校は平成29年度に改修、改築された。平成30・31年度に小平中学校校舎外壁を改修した。</p> <p>★施設備品・教育用備品についても、学校要望を基本として必要性・緊急性も考慮しながら教育環境的に支障のないよう年次計画的に充実を図る。</p> <p>★学校図書については、国の定めている蔵書基準により、毎年一定額での蔵書の充実を図り、児童・生徒の読書意欲の向上に努めている。また、各学校においては読解力の向上策とし、朝読書に取り組んでいる。</p> <p>R6 実績（備品・図書含む） 小～9,049 千円（内購入図書 467 千円） 中～2,610 千円（内購入図書 165 千円）</p>	<p>□学校施設の補修・修繕に関しては、急を要する箇所から実施している。</p> <p>■活用が見込めない閉校施設については可及的速やかに解体を要する。</p> <p>□学校施設備品及び教育用備品については、毎年計画的に整備を進めるところであり、学習に支障が発生しないように実施している。</p> <p>■教育用備品については、学習指導に支障が出ないように整備していかなければならない。</p> <p>□学校図書についても、毎年一定額の購入は図られており、児童・生徒数的には支障のない状況である。</p> <p>■タブレット端末での読書も普及しているが、書籍を手に、読書に親しむ時間を多くするように学校全体として指導をすることが望ましい。</p>	<p>計画的実施</p> <p>計画的実施</p> <p>計画的実施</p>

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	学校経営の充実	スクールバス運行管理事業	<p>★学校統合により遠距離通学となった児童・生徒の通学手段及び部活動・少年団等の活動支援として、マイクロバス等によるスクールバスを運行し、遠距離通学での負担軽減を図っている。</p> <p>町所有のスクールバス4台は全て民間事業者へ運転業務委託をしており、平成26年10月より利用しているデマンドバス2台とあわせ計6台で運行管理を行っている。</p> <p>R6 事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 ～ 19,646 千円 ・維持経費 ～ 3,360 千円 	<p>□スクールバスは車両6台により各方面別に最長30分以内の乗車ルートを設定しており、幼・小・中併せて56名が安全に通学している。</p> <p>また、通学以外にも学校行事や部活動、社会教育事業においても、利便性や子ども達の意向を考慮した活用がなされており、有効な運行がなされている。</p> <p>■町内地形上、運行経路が複数あるため、安全管理面や効率的運行に配慮し、使用学校との密なる連携が必要である。</p>	継続
	教職員の資質・能力の向上	教職員研修の充実	<p>★教育研究所事業</p> <p>教職員の研修機会の拡充、町内教育の課題解決、教職員相互の情報交換・共有化を目指し町条例により設置、運営委託され町内全教職員が参加し、教科毎のサークル活動を主体に研修活動を実施している。</p> <p>R6 委託料～690 千円</p>	<p>□研究所は町内教職員が研鑽・研修する場として機能し、学校毎に課題を設定した中で、活発に事例研究などを行っており、小平町の教育進展に大変寄与している。</p> <p>■教職員の減少する中で、サークル構成にも苦慮しているが、教科指導の向上にもつながっており、研究所活動は町教育にとって重要な位置付けとなっている。</p>	教職員研修機会の拡充と指導方法の向上を目指し継続

施策名	推進施策	個別事業名	事業内容	点検・評価と課題	今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	教職員の資質・能力の向上	教員住環境整備	<p>★教員住宅については、現在 19 戸保有中、17 戸が入居し、令和 6 年度末においては充足率 89.5%となっている。</p> <p>住宅については、計画的な修繕により入居者の環境改善を図っている。</p> <p>R6 実績 ・住宅修繕～ 2,784 千円</p>	<p>□教職員居住環境の改善は各町村の責務であり、居住者の要望により順次修繕を実施している。</p> <p>■町内教職員の町外からの通勤率が高く、建替が進まない状況である。</p> <p>■鬼鹿中学校閉校に伴い空き家となった教員住宅は、小平中学校教員の住宅として活用しているが、今後は、老朽化が進む中で、入居したくなる住宅への建替や、民間教職員住宅の整備も視野に入れた計画が必要となってくる。</p>	計画的な環境整備の実施
地域全体で学びを支える体制づくり	開かれた学校づくりの推進	開かれた学校づくり	<p>★学校運営協議会制度</p> <p>学校運営に保護者や地域住民の支援・協力を求め、相互の信頼関係を深め、学校運営の改善と児童生徒の健全育成に取り組むもので、各学校に協議会が設置された。</p>	<p>□学校運営協議会制度は、保護者や地域住民の意見を聞くことにより、学校運営の改善に大変寄与している。</p> <p>■今後も活発な協議会運営にできるよう努めていく。</p>	今後も継続して設置
			<p>★学校開放事業</p> <p>各校屋体を地域内体育施設として、夜間に無料で住民開放しており、令和 6 年度は 8 団体が延べ 243 回、2,624 人が利用している。</p>	<p>□町内体育施設の補完として、地域スポーツ団体に有効に利用され、町民の体力向上等に寄与している。</p>	今後も継続して実施

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
【その1】 町内外に出会 いの輪を広げ、お びらの未来を担 う志を持った人 や生涯にわたり 活躍する人を育 てます	【幼児教育】 ・地域における子 育て相談の担い手 として「子育てサ ポーター」の発掘 と活用を努めます。 ・子育て中の親子 や幼児の交流・体 験の場として「子 育てサロン」や「 うちの子一番クラ ブ」の改善・充実 に努めます。	子育てサロン	<p>★0歳児から3歳児及びその親を対象に、子育てに関する情報交換や、幼児同士の交流の場を提供している。</p> <p>★文化交流センターロビーにて常時開設。</p>	<p>□常時サロンを開設しているが利用する親子が少ない。</p> <p>■幼児期こそ子育て情報の共有が大切なときであるため、今後も交流の場の提供は続けるが、事業の継続などについては検討する必要がある。</p>	事業の継続などについて検討する。
		うちの子一番クラブ	<p>★1歳児から3歳児及びその親を対象に、遊びを通して親と子が触れ合う機会を提供するとともに、子育てに関する情報交換や、子ども同士の交流を図る。</p> <p>R6実績 ・5月かおあわせ会、6月こどもうんどう会、9月ヨーヨーあそび、10月秋のこどもうんどう会、ハロウィンパーティー、11月どんぐりさがし、12月クリスマスパーティー、3月はるまつり、お楽しみ会～ 延べ164名参加</p>	<p>□小平幼児センター（くるんば）及び鬼鹿こども園との連携により実施しており、参加率が比較的高い事業として定着している。</p> <p>■小平幼児センター（くるんば）及び鬼鹿こども園からの参加は多いものの、一般の参加者が少ないことから、PRの方法や興味を持ってもらうような事業の実施について検討を行うなど、新規参加者の掘り起こしを行う必要がある。</p>	子育てサポーターの支援を得ながら今後も継続して実施する。
		子育てサポーター	<p>★子育てに対する悩みや不安を持つ親の身近な相談相手として「子育てサポーター」を配置する。また、併せて「うちの子一番クラブ」など、子育て支援のための交流事業のサポートを行う。</p> <p>R6実績 ・子育てサポーター配置数 小平2名 鬼鹿1名</p>	<p>□子育てサポーターの人員不足はもとより、活動主体が「うちの子一番クラブ」の事業サポートのみに偏在している。</p> <p>■子育て支援を推し進める一方で、子育てサポーターの人材確保が非常に難しくなっている。</p>	子育てサポーターの人材発掘をしながら、今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		幼児陶芸教室	<p>★作陶体験を通して、幼児の創造性を養う機会を提供する。</p> <p>R 6 実績 ・各幼稚園年長組 ～ 13 名参加</p>	<p>□園児数が減少する中であっても、地道に幼児の創造性を養う場の提供を続けている。</p> <p>■園児数減少の影響は避けられないが、陶工房の有効活用の観点からも事業を継続する必要がある。</p>	<p>幼児の創造性を養うため今後も継続して実施する。</p>
	<p>【少年教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的または現代的なもの、地域特有のものなど、多様で豊かな学習と体験活動を地域のつながりを活かした中で推進します。 ・地域と学校の連携・協働を推進するため、コミュニティスクールと両輪となる地域学校協働本部の活動を推進します。 	おびらっ子クラブ	<p>★放課後や週末に学年の違う子どもたちが集まり、地域の大人たちと交流し合いながら、様々な体験ができる場を提供する。</p> <p>R 6 実績 ・5月スーパーしゃぼん玉、10月ハロウィン工作、11月かるた講習会、12月下の句かるた合同練習、書道教室、1月下の句かるた合同練習、2月・3月下の句かるたあそび ～ 延べ86名参加</p>	<p>□工夫を凝らし、様々な体験ができる場を提供しているが、事業がマンネリ化している。</p> <p>■今後も地域関係機関との連携を図りながら、当町ならではの子どもたちの体験の場を確保する必要がある。</p>	<p>子どもたちが魅力を感じる活動を模索しながら今後も継続して実施する。</p>
		学社融合事業「化石発掘体験」	<p>★町内小・中学生が化石発掘を体験することにより、化石について深く知るとともに、地域に対する誇りや自然環境を大切にすることを育む。</p> <p>R 6 実績 ・小平、鬼鹿小学校の6年生 28 名参加 (富岡地区・小楸子川) ・小平中学校の1年生 13 名参加 (達布地区・小平薬川上流域)</p>	<p>□当町ならではの事業として定着しているが、野外事業であるため、天候や河川の増水など、実施に当たっては自然環境に左右されがちである。</p> <p>■発掘からクリーニングに至るまでの体系的なプログラムの実施を検討する必要がある。</p>	<p>地域に対する誇りや自然環境を大切にすることを育むため今後も継続して実施する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		子ども書初め大会	<p>★町内小・中学生を対象に書写教育の一環として、文字を正しく丁寧に書くことを大切にする心を育むとともに、席書会を通して参加児童・生徒の交流を図る。</p> <p>R 6 実績 ・暴風雪警報発令により事業を中止</p>	<p>□児童・生徒数の減少もあり、年々、参加者が減少している。特に中学生の参加が少ない状況となっている。</p> <p>■参加希望者がいる間は、事業を継続するが、参加者の減少が続くようであれば、事業の休止、廃止等を含め検討する必要がある。</p>	参加希望者がいる間は基本的に継続して実施する。
		小平町子ども下の句カルタ大会	<p>★町内小・中学生が一堂に会し、北海道独特の文化である「下の句百人一首」を通じて、参加者同士の交流による親睦と友情を深めるとともに、心身ともに健全な青少年の育成を図る。</p> <p>R 6 実績 ・1月11日～町内大会7名参加 ・1月18日～南部地区大会7名参加 (地区大会敗退)</p>	<p>□児童・生徒数の減少により、年々、参加者も減少している。</p> <p>■年々、参加者が減少しているが、冬場の伝統的な遊びを後世に伝承していくためにも、事業を継続する必要がある。</p>	参加児童・生徒の減少に対応しながら今後も継続して実施する。
		姉妹都市少年少女交流事業	<p>★東京都小平市との相互訪問交流を通して、友好と親善を深めるとともに、人間性豊かな少年少女の育成を図る。</p> <p>R 6 実績 ・8月5日～8月8日(第46回) 小平町20名参加 小平市20名参加</p>	<p>□本事業は、40年以上の長きにわたり実施されてきた歴史ある事業であるが、近年の気候変動による異常な高温状態は熱中症リスクを高め、参加児童・生徒の健康に重大な影響を及ぼしており、事業実施に支障を来している。</p> <p>■今後においては、異常な気候状況を勘案し、実施事業の見直しを行うなど、最大限、児童・生徒の健康に留意しながら、事業を継続していく必要がある。</p>	姉妹都市少年少女交流事業の本質に立ち返り今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		少年の主張	<p>★中学生が日頃の生活の中で感じた家族や友人、地域の人々に対する思いや感謝、または感動や感銘を受けた経験、更には未来への希望などを自分の言葉で表現し、同世代のみならず、社会に向けて発表する力を育てることを目的とする。</p> <p>R 6 実績 ・ 7月 24日 小平中学校生徒 1名 地区大会参加</p>	<p>□学校生活や日常生活の中で考えたことや伝えたい思いなどを発表する場として定着している。</p> <p>■今後も広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を理論的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身につける機会を確保するためにも事業を継続する必要がある。</p>	<p>多様なものの見方、考え方を養うためにも今後も継続して実施する。</p>
		地域学校協働本部	<p>★町内小中学校と地域との協働体制をつくとともに、多様な形態の授業支援による教育力の向上を図るため地域の良さを活かした中で学習等が進められるよう取組を進める。</p> <p>R 6 実績 ・ 各種授業等におけるサポート 小平小学校 62名 鬼鹿小学校 54名 小平中学校 8名及び7団体</p>	<p>□町広報（社教だより）を通じて協力要請を行っているほか、ボランティアバンクへの登録も行っているが、参画者が少ない状況となっている。</p> <p>■今後においても、地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動を続けるため、協力が見込める方への声掛けを行うほか、町広報（社教だより）を通じて協力要請を継続する。</p>	<p>地域の良さを活かした中で学習等が進められるよう今後も継続して実施する。</p>
	【家庭教育】 ・ あいさつや基本的な生活習慣の大切さについて、広報等を通じて地域や家庭に対して理解の促進を図ります。 ・ 「子育てサポーター」、「子育てサークル」など町内の子育て支援関係者の活動	あいさつ運動	<p>★人と人とのつながりの第一歩である「あいさつ」を家庭・地域・学校が連携して取り組み、心豊かな地域社会を築くことを目的とする。</p> <p>R 6 実績 ・ 町広報（社教だより）にシンボルマーク及び標語掲載による周知・啓発</p>	<p>□近年は、町広報（社教だより）による周知・啓発にとどまっている。</p> <p>■登下校時等にきちんと挨拶ができる子どもたちの様子を見てみると、あいさつ運動はどの世代の子どもたちにも確実に根付いていると思われる。</p>	<p>あいさつをずる習慣を絶やさぬように今後も継続して周知・啓発に努める。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
	を支援します。	早寝早起き朝ごはん運動	<p>★早寝早起きや朝食をとるなど、子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させるため、地域ぐるみで子どもの生活リズム向上に取り組むことを目的とする。</p> <p>R 6 実績 ・夏休み期間中におけるラジオ体操の実施</p>	<p>□早寝早起きや朝食をとるなど、子どもの望ましい基本的生活習慣を育成するための取組は、スポーツ協会小平支部及び鬼鹿各地域の子供会協力によるラジオ体操のみの実施となっている。</p> <p>■早寝早起き朝ごはん運動に対する取組が、ラジオ体操の実施のみに限られているため、本事業については、休止又は廃止等を含め検討する必要がある。</p>	本事業については、休止又は廃止等を含め検討する。
		子育て支援ネットワーク会議	<p>★子育てサポーター・保健師・社会教育担当者による子育て支援の会議を実施し、事業の打ち合わせ、うちの子一番クラブ等における子どもの様子や保護者からの相談等について情報交換を行う。</p> <p>R 6 実績 ・会議等実施なし</p>	<p>□会議は実施していないが、うちの子一番クラブの中で、子育てサポーター・保健師・社会教育担当者による子育て支援の情報交換を行っている。</p> <p>■うちの子一番クラブを実施する中で、子育てサポーター・保健師・社会教育担当者による子育て支援の情報交換が行われていることから、本事業については、休止又は廃止等を含め検討する必要がある。</p>	本事業については、休止又は廃止等を含め検討する。
		子育て応援イベント支援事業	<p>★子育て支援の観点から、子育てサークル等が企画・運営する子育てイベントが円滑に実施できるよう支援する。</p> <p>R 6 実績 ・イベント等実施なし</p>	<p>□幼児及び親同士の交流を深める機会として、子育てに関するイベントを行ってきた。</p> <p>■イベントの開催に際し、支援してきた子育てサークル「まいあさうら」が会員不足により解散したことから、本事業は廃止する。</p>	子育てサークルの解散に伴い、本事業は廃止する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
	<p>【青年教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの未来を担う「志」をもった若者同士のつながりや地域との関わり合いを深める機会の充実に取り組みます。 ・青年たちのリーダーシップやチャレンジ精神を育てる取組を推進します。 ・成人年齢引き下げや外国籍の参加者の増加に対応した新たな成人式のあり方を検討し、実施します。 	<p>おびら二十歳を祝う会</p>	<p>★町在住者並びに出身者が人生の節目となる二十歳を迎えるにあたり、町をあげて心からの祝福を贈るとともに、将来に向かって明るい希望を持たせ、励ますことを目的とする。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月12日開催 19名参加 	<p>□少子化の進展とともに、式典に参加する成人の人数も少なくなっている。</p> <p>■人生の新たな一歩を踏み出そうとする重要なイベントとして、今後も事業を継続する必要がある。</p>	<p>二十歳を祝福する重要な機会であるため今後も継続して実施する。</p>
		<p>担い手育成事業</p>	<p>★持続可能な地域づくりのため、地域が抱える課題等について話し合う場を設けるなど、社会の変化に対応し、新たなことに挑戦する時代を担うリーダーの育成を図る。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おびら未来塾 6月29日吉田敦也講演会 15名参加 	<p>□おびら未来塾主催により、地域が目指すべき姿にあった講演会等を実施するが、それが新たな地域づくりや課題解決に今一つ結び付いていない。</p> <p>■地域や町民のニーズにあった話し合う場を企画し、回を重ねながら、持続可能な地域づくりを目指す必要があるため、今後も事業を継続する。</p>	<p>回を重ねることが重要であるため今後も継続して実施する。</p>
	<p>【成人教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会いの輪を広げる原動力として活かすため、生涯学習ボランティアバンクの登録を促進します。 ・地域に関する「学び」や生活に役立つ「学び」を創造し、「学び」を活かした活動を支援します。 	<p>生涯学習ボランティアバンク</p>	<p>★町民の自主的な学習活動や、小中学生の地域活動、体験学習等を支援するため、生涯学習ボランティアバンクへの登録促進とその活用を図る。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者 30名 	<p>□生涯学習ボランティアバンクへの登録者はいるものの、ボランティアの活用が思うように図られていない。</p> <p>■長年にわたり、ボランティアの活用がない状況が続いていることから、地域学校協働本部との連携を図り、ボランティアの有効活用を図る必要がある。</p>	<p>本事業については、ボランティアの活用方法について検討する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		生涯学習セミナー	<p>★豊かな心とたくましく生きる知恵を持った子どもを育成するためには、学校教育だけでなく、家庭や地域の教育力向上が不可欠であることから、町PTA連合会研究大会と連携したセミナーを通じて、学校と家庭や地域との結びつきを強め、子どもを取り巻く教育の諸問題等について共通の認識を深めることを目的とする。</p> <p>R 6 実績 ・ 7月6日開催 31名参加</p>	<p>□学校関係者のみならず、一般市民も参加して開催される町PTA連合会研究大会と連携したセミナーにより、地域全体で子育てを行うという意識の向上が図られている。</p> <p>■子どもを取り巻く教育の広範な諸問題等について共通の認識を深めるため、今後も事業を継続する。</p>	<p>地域全体で子育てを行うという意識の向上を図るため今後も継続して実施する。</p>
		転入者向け情報チラシ	<p>★転入者向けに、文化サークル一覧や子育て支援情報を載せたパンフレットを配布する。</p> <p>R 6 実績 ・ 配布実績なし</p>	<p>□転入者向けにパンフレットを作製し、配布していたが、現在は配布していない。</p> <p>■現在は配布していない状況に鑑み、本事業は廃止する。</p>	<p>配布実績がないため、本事業は廃止する。</p>
		おびらふるさと塾	<p>★郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承等を図るため、地域の魅力に気づく機会を提供するとともに、地域資源の活用を考える機会とする。</p> <p>R 6 実績 ・ 6月21日夢を描いたポートランド住民の物語 13名参加 ・ 8月21日海岸ノ漁場屏風と鬼鹿天応寺龍図天井画 12名参加 ・ 2月8日避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」体験 9名参加</p>	<p>□参加者の固定化が見られるが、地域を変えていくための取組として定着している。</p> <p>■持続可能な地域社会を後世に残すためにも、地域の魅力に気づく機会に資する講話内容の充実に努める必要がある。</p>	<p>持続可能な地域社会を後世に残すきつかけづくりのため今後も継続して実施する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		英会話教室	<p>★外国語指導助手による英会話教室を受講生のレベルを考慮した形で定期的に開催する。</p> <p>R 6 実績 ・毎週木曜日に実施</p>	<p>□受講生は少ないものの、英会話を身に着きたい受講生がいる限り予定通り実施している。</p> <p>■受講生は少ないが、外国語指導助手の配属がある限り英会話を学ぶ機会として今後も事業を継続する。</p>	<p>外国語指導助手の配属がある限り今後も継続して実施する。</p>
		おびら未来塾	<p>★まちの個性を生かしながら、地域を変えてゆく新たな取組に挑戦する意欲を醸成する機会を提供する。</p> <p>R 6 実績 ・6月29日吉田敦也講演会 15名参加</p>	<p>□地域を変えてゆく新たな取組ではあるが、参加人数が少ない状況となっている。</p> <p>■地域の新たな価値を創造する場として、今後も事業を継続する。</p>	<p>地域を変えてゆく意欲を醸成するため、今後も継続して実施する。</p>
	【女性教育】 ・女性団体の活動を通じ、女性の視点による地域課題に対する取組や学習を支援します。	小平町女性会議	<p>★女性が家庭や社会の中において、一人ひとりの個性や能力を發揮しながら生活できる地域社会の実現を目指す。</p> <p>R 6 実績 ・町外視察研修（小樽市）32名参加 ・町内視察研修（落語鑑賞）48名参加</p>	<p>□視察研修及び交流事業に終始し、地域課題等を議論、解決に結びつける場がほとんどない。</p> <p>■近年、町内会単位等、女性団体の解散が進み、会員数が減少しているが、今後も女性が暮らしやすい町づくりを推進するため事業を継続する。</p>	<p>女性特有の視点を最大限活用するため今後も継続して実施する。</p>
		美味しい地物に感謝祭（後援事業）	<p>★地域の食材や郷土料理を味わい、町民が交流する場を提供するため、小平町女性会議とイベントクラブの共催により実施する。</p> <p>R 6 実績 ・小平町女性会議の意向により中止</p>	<p>□コロナ禍、また諸事情により令和2年度から開催を中止している。</p> <p>■小平町女性会議の意向として、女性団体数の減少及び会員数も少なく、従前からイベントの開催が負担になっていることから、長らく続く開催中止を機に、イベントを廃止したいとの事であるため、本事業は廃止する。</p>	<p>小平町女性会議の意向により本事業は廃止する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		女性レクリエーション交流会	<p>★町内女性各種レクリエーションを通して交流と親睦を深め、女性活動の機会を広げることを目的とする。</p> <p>R 6 実績 ・映画鑑賞を実施 36 名参加</p>	<p>□内容がスポーツレクに固定化されていたことから、映画鑑賞に変更し、違った角度からの交流を実施した。</p> <p>■スポーツ交流ではなく、違った交流を望む声が多いことから、様々な交流会を実施し、一層親睦を深めるため、今後も事業を継続する。</p>	女性活動の機会を広げるためにも今後も継続して実施する。
	【高齢者教育】 ・学校や放課後子ども教室等で高齢者が活躍する場を積極的に設けることなどにより、高齢者と児童生徒、若者の交流機会を増やし、生きがいづくりを推進します。	世代間交流事業	<p>★様々な事業を通じて、高齢者と児童・生徒、若者の交流機会を増やし、高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりを推進する。</p> <p>R 6 実績 ・高齢者と青少年との交流を目的とした事業実施なし ・おびらふるさと塾を世代間交流の場と位置付けた交流</p>	<p>□現状として、高齢者と青少年との交流を目的とした事業がなく、世代間の交流機会がない。</p> <p>■おびらふるさと塾など、高齢者の参加者も多い事業を通じて、多世代交流の機会の増加に努める必要がある。</p>	高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりを推進するためにも今後も継続して実施する。
【その2】 ふるさとに誇りと愛着をもつ人を育てます	【文化財】 ・文化財の保護と郷土資料の収集を図り、郷土の歴史や文化の伝承を推進するとともに、関係機関と連携した中で町内外へのPR活動について検討し、実施します。 ・文化財や化石の理解促進を図るための教育普及事業の実施に努めます。	鯉番屋まつり	<p>★かつて鯉漁で栄えた昔日の栄華を今日に伝える国指定の重要文化財「旧花田家番屋」を中心に祭りをを行い、郷土芸能や生活文化を伝承する機会とする。</p> <p>R 6 実績 ・5月19日開催</p>	<p>□まつり内容がマンネリ化しているため、来場者を飽きさせない仕掛けが必要。また、大鍋三平汁の調理が相当程度負担になってきている。</p> <p>■鯉漁の歴史や生活文化、郷土芸能を伝承する貴重な機会であるため、今後も継続して実施する。</p>	鯉漁の歴史文化を今に伝える貴重な機会として今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
	<p>・町の歴史や文化を語る新たな文化財の発掘に努め、指定文化財化を含めた適切な保護と整備を推進します。</p>	文化財をめぐる諸計画の策定	<p>★旧花田家番屋の耐震化など大規模改修を実施する。</p> <p>R 6 実績 ・旧花田家番屋耐震改修・保存修理基本設計</p>	<p>□整備検討委員会を設置し、耐震改修及び折損大梁の取替など、保存修理について検討を行っている。</p> <p>■耐震改修及び保存修理事業については、基本的には継続と考えるが、かかる費用や施設の必要性等を考慮した場合、計画の再考が求められる。</p>	<p>基本的に事業は継続と考えるが、計画の見直しについても検討の余地がある。</p>
		文化財の保護・活用及び郷土資料の収集	<p>★文化財に関する有識者や関係機関との連携を図り、文化財の適切な保存管理とその活用を推進する。</p> <p>R 6 実績 ・旧花田家番屋小破修繕の実施</p>	<p>□文化財や遺産に親しむ機会が少ないことから、文化財に対する町民の関心が薄い。</p> <p>■町民が、文化財や遺産に親しむ機会の創出を図るとともに、町内の貴重な文化財を次代に継承していく取組を進める必要がある。</p>	<p>文化財を次代に継承していくため、今後も継続して実施する。</p>
		郷土芸能の伝承活動	<p>★郷土芸能を伝承していくため、「鬼鹿松前神楽保存会（国重要無形民俗文化財保持団体）」や「おびら太鼓麓龍」等に対する活動支援を行う。</p> <p>R 6 実績 ・松前神楽保存会へ活動助成を実施 ・おびら太鼓麓龍に対しては文化交流センター使用料を減免</p>	<p>□活動を継続するための予算が少ない状況にある。</p> <p>■出演の際の移動手段などに苦慮している状況にあるため、支援していく必要がある。</p>	<p>郷土芸能を伝承していくため今後も継続して実施する。</p>
		古生物化石の収集保存	<p>★当町は、古生物化石の宝庫として研究者や愛好者に知られており、貴重な化石が多数産出している。この貴重な化石資料を収集・保管・展示することで、古生物化石の価値や魅力を広く伝える。</p> <p>R 6 実績 ・新たな化石発掘実績なし</p>	<p>□町内には、古生物化石やそれに関わる資料などを適切に管理し、調査する学芸員や施設がない。</p> <p>■当町は、古生物化石の宝庫であることから、化石が持つ潜在的な価値を高め、効果的に活用することにより、地域の活性化を図る必要がある。</p>	<p>貴重な化石資料を収集・保管するため今後も継続して実施する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		化石や文化財に親しむ事業	<p>★地域に古くから残る古生物化石や文化財を育んだ自然や環境に親しむ機会を提供する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 化石発掘 小平・鬼鹿小学校6年生 24名参加 小平中学校1年生 16名参加 姉妹都市交流事業 40名参加 	<p>□町内小・中学生や姉妹都市交流事業においては、化石発掘体験事業を実施しているが、文化財に親しむ機会が少ない、またはほとんどない。</p> <p>■化石に親しむ機会はあるが、文化財に親しむ機会が皆無であるため、文化財に対する興味と理解を深めるための学習機会や体験機会を設ける必要がある。</p>	古生物化石や文化財を育んだ自然や環境に親しむ機会を提供するため今後も事業を継続する。
【その3】 オンラインワンの才能を磨くとともに芸術文化を生活の一部として楽しむ豊かな感性をもった人を育てます	【図書室】 ・小平町文化交流センター図書室の良好な環境の整備を通じて読書環境の充実や交流の場の創出に努めます。 ・町民がより読書に親しめる新たな取組を検討し、幼児や児童生徒はもちろんのこと、町民が生涯にわたり読書活動を行えるよう支援します。	図書環境の整備・充実	<p>★図書室は、町民が日常利用する施設であることから、すべての町民が安心して利用できる身近な図書室とするため、利用者ニーズを把握し、図書室環境の整備・充実に努めるとともに、文字・活字文化に親しむ機会を提供する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出図書数 7,657冊 利用者数 1,391人 	<p>□図書室固有の業務に従事する専門司書の配置がない。</p> <p>■司書の配置はないが、今後も利用者ニーズを把握し、町民が安心して利用できる身近な図書室として適切な運営に努める。</p>	文字・活字文化の発信地として、今後も適切な図書室運営に努める。
		子ども読書活動推進計画	<p>★子どもが読書を行う意欲を養い、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう学校や図書室などの関係機関と連携し、子どもの発達段階に応じた読書活動を家庭・地域・学校において積極的に推進する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3次計画（令和4年度～令和8年度）により推進中 	<p>□スマートフォンの普及等により、子どもの活字離れが急速に進むなど、読書環境への影響が懸念される。</p> <p>■子どもの読書習慣を身につけるためには、保護者のみならず地域の大人による指導や支援が不可欠であるとともに、乳幼児期から読書に親しむ習慣を身に付ける上で効果的な事業を実施する必要がある。</p>	第3次計画に基づき推進する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		ブックスタート	<p>★乳幼児検診時に、保護者に絵本を手渡し、乳幼児からの絵本の読み聞かせの大切さや方法などを伝えるとともに、子育て支援事業についての情報提供を行う。</p> <p>R 6 実績 ・ 5月 22 日実施 1 人 ・ 11月 20 日実施 1 人 ・ 1月 22 日実施 1 人</p>	<p>□ブックスタートを契機として、乳幼児やその保護者が本に興味を持っても、その後の継続的な関わりがなければブックスタートの意味や効果が一時的なものになってしまうことが懸念される。</p> <p>■絵本を通じて親と子のコミュニケーションを図る効果的な事業であるため、ブックスタートの意味や効果が一時的なものにならないよう支援していく必要がある。</p>	乳幼児期に必要な事業であるため今後も継続して実施する。
		絵本の読み聞かせ・おはなし会	<p>★子どもに本や絵本など物語の楽しさや素晴らしさを伝えるとともに、親が子どもに本の読み聞かせを行うことの大切さなどを伝えることを目的とする。</p> <p>R 6 実績 ・ 5月 11 日おはなし会開催 39 名参加</p>	<p>□おはなし会の開催は、5月の読書週間に合わせ、年に一回の開催に留まっていることから、おはなし会の意味や効果が一時的なものになってしまうことが懸念される。</p> <p>■おはなし会の意味や効果が一時的なものにならないよう、実施回数などについての検討を行うとともに、おはなし会以外の機会にも、継続的に図書室を利用してもらえるよう工夫する必要がある。</p>	好評を博しているため今後も継続して実施する。
		児童・生徒が図書に親しむ事業(ブックフェスティバルなど)	<p>★北海道立図書館の学校図書館支援事業の一環であるブックフェスティバルを通じ、子どもたちに沢山の本に触れる機会を提供し、本の楽しさや素晴らしさへの理解を深める。</p> <p>R 6 実績 ・ ブックフェスティバル 小平小学校 81 名参加 鬼鹿小学校 24 名参加</p>	<p>□子どもたちが沢山の本に触れる貴重な機会として定着している。</p> <p>■読書の楽しさを味わうことで子どもの読書意欲を高めるため、継続して取組を進める必要がある。</p>	たくさんの図書に触れる貴重な機会であるため今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		読書のつどい	<p>★小中学生の読書への関心と意欲を高めるとともに、文化交流センター図書室及び学校図書館の利用拡大を図ることを目的とする。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書カード、本の帯等の展示作品 小平・鬼鹿小学校3年生 22 作品 〃 5年生 19 作品 小平中学校1年生 13 作品 	<p>□令和6年度から本の紹介に係る作品展示として実施している。</p> <p>■学習指導要領において読書は、教育課程実施上の配慮事項として明確に位置づけられていることから、読書への関心と意欲を高める貴重な機会として継続的に取組を進める必要がある。</p>	小中学生の読書活動を推進するため今後も継続して実施する。
	<p>【文化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化に親しみ文化の薫り高い町を実感できるよう文化団体の活動を支援します。 ・人口減少や文化団体の高齢化が進む中、文化活動のすそ野を広げるため、広報等を通じて新たな担い手づくりや団体の設立を支援します。 	小平町文化協会事業	<p>★当町文化芸術の振興と文化的なまちづくりの推進を図るため、各種文化芸術関連事業を実施する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第51回町民文化祭などを開催 	<p>□加盟団体、人数ともに減少傾向にある。また実態として、加盟しているものの中には活動していない団体が存在する。</p> <p>■多様な文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動に取り組む団体等に対する支援を継続する必要がある。</p>	文化芸術の振興を図るため今後も継続して実施する。
		町民文化祭(舞台・展示)	<p>★町内の文化芸術団体及びその愛好者が一堂に会し、日頃の練習成果の発表、また作品の展示を行うなど、薫り高い文化の祭典を開催する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能発表会舞台部門5団体延べ88名参加 ・作品展示数61作品 	<p>□加盟団体の減少により、芸能発表会舞台部門の参加者が減少している。展示を行う作品についても減少している。</p> <p>■加盟団体の減少等が続いているが、年に一度、町内の文化芸術団体及びその愛好者が一堂に会する唯一の機会であるため、文化芸術の灯を消さないためにも町民文化祭を継続して開催する必要がある。</p>	文化芸術の振興を図るため今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		児童生徒作品展	<p>★町民文化祭の開催に合わせ、児童生徒の絵画、書道作品を一堂に展示し、文化芸術活動の成果を多くの町民に披露する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書道 79 作品 ・絵画 103 作品 	<p>□年に一度、児童生徒の絵画、書道作品が一堂に展示される機会として定着している。</p> <p>■児童生徒の文化芸術活動の成果を町民文化祭に来場する多くの町民に披露する唯一の機会であるため、今後も社会教育事業の一環として継続する。</p>	文化芸術の振興を図るため今後も継続して実施する。
		町民俳句大会	<p>★四季折々の情景や想いを表現する俳句づくりを通じて、児童生徒及び町民の豊かな情操を養う。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の部 76 句 ・中学生の部 42 句 ・一般の部 12 句 	<p>□決められた題材を基に、独創的な発想や想いから俳句を創作する機会として定着している。</p> <p>■俳句は、伝統的な創作活動であるとともに豊かな情操を養う機会であるため、事業を継続する。</p>	文化芸術の振興を図るため今後も継続して実施する。
		登り窯・陶工房活用事業	<p>★地域の魅力向上を図るため、陶工房おびらや登り窯を中心に陶芸の普及、振興を図る。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者(小平町陶芸施設運営実行委員会)による運営 ・指定管理者の指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 	<p>□指定管理者である小平町陶芸施設運営実行委員会会員の高齢化が著しく進んでおり、委員会の存続及び陶工房の運営に支障を来す可能性がある。</p> <p>■陶芸文化の発信、交流拠点として、今後も指定管理者による施設運営を行う。</p>	文化芸術の振興を図るため今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
	【舞台芸術】 ・町民の芸術文化に対する意識の向上を図るため、サポーターズクラブの活動支援を通じて、舞台芸術鑑賞の機会を充実させます。	舞台芸術鑑賞事業 (小平町文化交流センターサポーターズクラブ)	★ 小平町文化交流センターで行われる舞台芸術鑑賞事業については、小平町文化交流センターサポーターズクラブの企画運営により実施している。 R 6 実績 ・6月21日「尾崎裕哉 with 宮本貴奈」151名 ・10月2日三遊亭小遊三「おびら寄席」181名 ・2月15日映画「怪盗グルーのミニオン超変身」143名	<input type="checkbox"/> 小平町文化交流センターサポーターズクラブについて、メンバーが固定化しており、組織の新陳代謝が行われない。 ■ 小平町文化交流センターホールを有効活用するためには、町内・町外から多くの聴衆を集めることができる舞台芸術鑑賞事業を実施する必要がある。	小平町文化交流センターホールを有効活用するため今後も継続して実施する。
		幼児芸術鑑賞事業	★ 人形劇等の鑑賞を通して、幼児の自主性、創造性を育てるとともに、豊かな情操を養うことを目的とする。 R 6 実績 ・10月4日人形劇団ひよっこ 61名鑑賞	<input type="checkbox"/> 人形劇等の鑑賞は、幼児の豊かな想像力と感性を養う機会として定着している。 ■ 幼児の自主性、創造性を育む効果的な事業であるため、今後も各幼稚園とも連携し実施する。	幼児の豊かな想像力と感性を養うため今後も継続して実施する。
		児童生徒鑑賞事業	★ 児童生徒に優れた舞台芸術を鑑賞させることにより、豊かな情操を養うことを目的とする。 R 6 実績 ・9月13日マレウレウ音楽鑑賞会 小平小学校 78名鑑賞 鬼鹿小学校 24名鑑賞	<input type="checkbox"/> 優れた舞台芸術の鑑賞は、児童生徒の豊かな情操を養う機会として定着している。 ■ 児童生徒の豊かな感性と創造性を育む効果的な事業であるため、今後も小中学校とも連携し実施する。	児童生徒の豊かな情操を養うため今後も継続して実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
<p>【その4】 子どもから 高齢者まで 性別や障が いの有無に 関係なく、 一生涯スポ ーツを楽し む人を育て ます</p>	<p>【スポーツ（幼児・ 少年・青年）】 ・スポーツに親し み、興味関心や基礎 基本の習得ができる ようスポーツ教室を 開催します。 ・スポーツに対する 理解を深め、可能性 を伸ばし、自己を鍛 えるため、自己の記 録に挑戦する意欲を 養います。 ・競技力のみならず 健全な精神と肉体を 育てるため、スポー ツ少年団活動の推進 を図ります。</p>	<p>子ども向けスポーツ 教室の実施</p>	<p>★基礎的なことを中心に指導し、スポ ーツに親しみ、スポーツを続けるきっ かけとなるよう各種教室を開催する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児スポーツ教室 6月 27 日・11 月 18 日（小平幼稚園）、6月 21 日・11 月 11 日（鬼鹿幼稚園）延べ 114 名参加 ・マリンスポーツ教室 6月 22 日 6 名参 加 ・水辺の安全教室 6月 27 日（小平・鬼 鹿小学校 5 年生）20 名参加 ・キンボール教室 10 月 7 日、11 月 5 日・18 日、12 月 9 日・16 日、1 月 20 日、延べ 49 名参加 ・キッズスキー教室 1 月 11 日・13 日・ 18 日・19 日延べ 32 名 ・スノーボード教室 1 月 11 日・13 日・ 18 日・19 日延べ 10 名 ・スノーホッケー教室 2 月 19 日（鬼鹿 小学校 3～6 年生）、2 月 21 日（小平小 学校 3～6 年生） ・アルペンスキー教室 2 月 5 日・7 日延 べ 22 名参加 ・JACOT 教室 6 月 5 日、9 月 25 日、3 月 25 日延べ 7 名参加 ・フットサル教室 5 月 13 日 9 名参加 	<p>□幼児・児童生徒の心身の成長と運動機能を 高めるための事業として定着している。</p> <p>■幼児・児童生徒がスポーツに親しみ、スポ ーツを続けるきっかけづくりを支援してい るが、子どもたちがスポーツに接する機会や 時間が減少しているため参加者が思うよう に伸びない。</p>	<p>幼児・児童生 徒がスポーツ に親しみ、ス ポーツを続け るきっかけづ くりを支援す るため、今後 も事業を継続 する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		スポーツ少年団の育成	<p>★スポーツ少年団に加入する子どもの自主性や協調性を育み、心と体の健全育成を図るため、各少年団の活動に対する支援を行う。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各少年団に対し活動助成金を支給(小平空手少年団、小平 SRT 少年団、小平野球少年団、小平バレー少年団、鬼鹿スキー少年団) ・小平町スポーツ少年団交流会 10 月 15 日、3 月 17 日開催 	<p>□少子化によるスポーツ環境の減少や、スポーツ以外の多様な活動により、スポーツをする子ども自体が減っている。</p> <p>■少子化の影響により、活動を休止している団体や他町村と合同で活動している団体、また存続自体が危ぶまれる団体が存在する。</p>	<p>スポーツ少年団の活動を支援するため今後も事業を継続する。</p>
		海洋スポーツ奨励事業	<p>★マリンスポーツや親水活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的とする。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小平海洋クラブ員 15 名 ・海洋スポーツ研修(9 団体 205 名) ・海洋スポーツ体験事業(1 回 7 名) 	<p>□小中学生の校外活動の減少などにより、研修事業等の利用が減ってきている。</p> <p>■マリンスポーツ活動等を推進するため、センターインストラクターを配置し、海洋センター機能を高めながら利用の拡大に努める。</p>	<p>海洋性スポーツ活動を推進するため今後も事業を継続する。</p>
		B & G スポーツ大会(剣道の部・水上の部)	<p>★海洋クラブ員が日頃の練習の成果を競い合うとともに、相互の交流と親睦を深めることを目的に開催する。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道の部不参加 ・水上の部 15 名参加(大樹町) 	<p>□水上の部においては、日頃の練習の成果を存分に発揮し、個人、団体ともに好成績を収めている。</p> <p>■少子化やスポーツ以外の多様な活動により、海洋クラブに所属する子どもが徐々に減ってきているが、今後も可能な限り大会に参加する。</p>	<p>海洋クラブ員が減少してきているが、今後も可能な限り大会に参加する。</p>

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
	【スポーツ（全年齢）】 ・人生100年時代において「健康」を最も価値あるものの一つと捉え、子どもから大人まで年齢や障害の有無に関係なくスポーツ活動を楽しめる環境を整備し支援します。	かるやかクラブ	<p>★ヨガなどの軽い有酸素運動を習慣的に行うことの大切さに対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>R 6実績 ・ストレッチヨガ5月13日・20日、9月9日・30日、3月10日・24日延べ28名参加 ・体操教室7月1日・8日延べ10名参加 ・気軽に筋トレ11月11日・18日延べ10名参加 ・ストレッチポール1月14日・20日延べ7名参加</p>	<p>□本事業は、20年以上の長きにわたり実施されてきた歴史ある事業であり、町広報によるPRも行っているが、参加者が少ない状況となっている。</p> <p>■運動を習慣化することは、疾病を予防し、健康的な生活を送る基礎となる体力を身に着ける基本的な身体活動であるため、今後も町民の健康維持増進を図るためにも事業を継続する必要がある。</p>	町民の健康維持増進を図るため今後も事業を継続する。
		ウォーキング教室	<p>★生活習慣病の予防につながるウォーキング教室を開催し、習慣的に運動を行うことの大切さに対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>R 6実績 ・開催日10月28日2名参加</p>	<p>□町民の健康維持増進を図るための事業として定着している。</p> <p>■運動を習慣化することは、疾病を予防し、健康的な生活を送る基礎となる体力を身に着ける基本的な身体活動であるため、今後も町民の健康維持増進を図るためにも事業を継続する必要がある。</p>	町民の健康維持増進を図るため今後も事業を継続する。
		ボルダリング教室	<p>★オリンピック種目にも採用されているボルダリング教室を開催し、全身運動による体幹やバランス感覚を鍛えるとともに、基礎体力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>R 6実績 ・開催日9月26日、10月24日、11月21日、2月27日延べ36名参加</p>	<p>□ボルダリングは、全身を使うスポーツであることから、体力と知力を向上させるための事業として定着している。</p> <p>■ボルダリング施設があることの周知、PRやホールドの位置を頻繁に変えるなど、利用者の増加を図るための取組が必要である。</p>	ボルダリング施設があることを広く周知し、利用者増加に努めるとともに、今後も事業を継続する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		小平町民健康マラソン大会	<p>★日常生活の基礎となる健康の維持と基礎体力の向上を図ることを目的とし大会を開催する。</p> <p>R 6 実績 ・ 9月8日開催 39名参加</p>	<p>□本大会は、40年以上の長きにわたり開催されてきた歴史ある大会であり、町内スポーツ大会の一大イベントとして定着している。</p> <p>■少子化やスポーツ以外の多様な活動により、大会参加者が徐々に減ってきているが、今後も可能な限り大会を開催する。</p>	大会参加者が減少してきているが、今後も可能な限り大会を開催する。
		B & G杯各種大会	<p>★日頃の練習の成果を発揮する場として、町民卓球大会・野球大会・少年少女剣道大会・バドミントン大会・ミニバレーボール大会・パークゴルフ大会を開催する。</p> <p>R 6 実績 ・卓球大会 11月24日 ・バドミントン大会 1月26日 ・ミニバレーボール大会 12月14日 ・パークゴルフ大会 3月24日 ・野球大会未開催 ・少年少女剣道大会未開催</p>	<p>□B & Gの冠を拝した歴史ある各種の大会であり、日頃の練習の成果を発揮する場として定着している。</p> <p>■少子高齢化の影響により、競技者人口並びに大会参加者の減少が続いているが、今後も可能な限り大会を開催する。</p>	大会が実施できない競技もあるが今後も可能な限り大会を開催する。
		小平町スポーツ協会事業	<p>★当町のスポーツの振興普及に関し、その功績及び成績を称え表彰するスポーツ賞表彰式を開催するほか、スポーツの日を記念してスポーツ大会を開催する。</p> <p>R 6 実績 ・第48回スポーツ賞表彰式 10月23日開催 ・スポーツの日記念スポーツ大会 パークゴルフ大会 10月13日 ミニバレーボール大会 10月26日</p>	<p>□スポーツ協会の主要事業であるスポーツ賞表彰式は、スポーツの振興普及に関し、その功績及び成績を称え表彰し、スポーツに取り組む意欲の一層の向上につなげる場として定着している。</p> <p>■少子高齢化の影響により、競技者人口の減少が続いているが、当町スポーツの振興普及を図るため、今後も表彰式やスポーツ大会を継続する必要がある。</p>	今後も当町のスポーツ活動を推進する中心組織として各種事業を継続実施する。

方針	推進目標	事業	内容	検証	今後の動向
		指導者の養成	<p>★スポーツに親しむ町民に対し、適切な指導や助言を行うための必要な知識、技能を持った地域スポーツ指導者の養成を図る。</p> <p>R 6 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規スポーツ指導者の養成なし ・小平町スポーツ推進委員 9名 	<p>□人材不足によるところが大きいですが、長年にわたり、地域スポーツ指導者の発掘、養成ができていない。</p> <p>■スポーツ全般の指導等については、小平町スポーツ推進委員が行っており、今後もそうした状況が続くと思われるが、部活動の地域移行の状況も含め検討する必要がある。</p>	部活動の地域移行の状況なども含め方向性を検討する必要がある。

別 添 資 料

1. 教育委員会の活動状況（令和6年度）

教育委員会議開催状況

- | | | | | | |
|------|-----|------------|-----------|------|--|
| 令和6年 | 第3回 | 令和6年5月30日 | 議案6件審議 議決 | 報告8件 | (小平町立学校における熱中症対策ガイドラインの制定、幼稚園評議員の選任、小平町第8次社会教育中期計画策定委員会要綱の制定、小平町第8次社会教育中期計画策定委員の選任、小平町第8次社会教育中期計画の諮問、令和6年度小平町教育費補正予算案(6月)) |
| 令和6年 | 第4回 | 令和6年8月1日 | 議案1件審議 議決 | 報告1件 | (学校における働き方改革小平町アクション・プラン(第3期)の策定) |
| 令和6年 | 第5回 | 令和6年8月30日 | 議案1件 議決 | | (令和6年度小平町教育費補正予算案(9月)) |
| 令和6年 | 第6回 | 令和6年10月1日 | 報告3件 | | (小平町教育委員の任命、教育長職務代理者の指名、令和6年10月1日付け小平町教育委員会職員の仕事異動) |
| 令和6年 | 第7回 | 令和6年11月28日 | 議案4件審議 議決 | 報告1件 | (小平町教育委員会職員の仕事異動に関する規則の制定、小平町教育委員会職員の仕事異動に関する事務取扱要綱の制定、教育委員会事務事業の点検評価、令和6年度小平町教育費補正予算案(12月)) |
| 令和7年 | 第1回 | 令和7年2月27日 | 議案5件審議 議決 | 報告1件 | (小平町第8次社会教育中期計画の策定、指定管理者の指定(重要文化財旧花田家番屋)、令和6年度小平町教育費補正予算案(3月)、令和7年度小平町教育行政執行方針、令和7年度小平町教育費予算) |
| 令和7年 | 第2回 | 令和7年3月27日 | 議案2件審議 議決 | | (令和7年度小平町公立学校教職員人事の内申・令和7年4月1日付け小平町教育委員会職員の仕事異動) |

町内活動状況(主なもの)

内 容	開催日時及び場所	
小平中学校入学式	令和6年4月6日	同校
小平幼・鬼鹿幼入園式、小平小・鬼鹿小入学式	令和6年4月8日	同園・同校
小平高等養護学校入学式	令和6年4月9日	同校
小平中体育大会	令和6年6月1日	同校
鬼鹿地区(幼・小)合同運動会	令和6年6月8日	鬼鹿小
小平小運動会	令和6年6月9日	同校
小平幼運動会	令和6年6月15日	同園
小平町慰霊祭	令和6年8月19日	文化交流センター
小平中学校祭	令和6年10月5日	文化交流センター
鬼鹿小学芸会	令和6年10月12日	同校
小平小学習発表会	令和6年10月13日	同校
小平幼発表会	令和6年10月20日	同園
体育協会スポーツ賞表彰式	令和6年10月23日	文化交流センター
鬼鹿幼発表会	令和6年10月26日	同園
小平町表彰式	令和6年11月3日	文化交流センター
小平中卒業式	令和7年3月13日	同校
小平小卒業式	令和7年3月16日	各校
小平幼卒園式・鬼鹿小卒業式	令和7年3月19日	同園・各校
鬼鹿幼稚園卒園式	令和7年3月20日	各園

教育委員名簿（令和7年3月31日現在）

職 名	氏 名	任 期（通算）
教育長職務代理者	松 本 恭 子	平成 27 年 10 月 1 日～令和 9 年 9 月 30 日
委 員	佐々木 康 勝	平成 22 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日
委 員	山 崎 みゆき	令和 6 年 10 月 1 日～令和 10 年 9 月 30 日
委 員	松 原 美 和	令和 6 年 10 月 1 日～令和 10 年 9 月 30 日

2 町立学校等設置状況（令和6年5月1日現在）

施設名	学級数		教職員数					園児、児童、生徒数 ()内は特別支援で内数											
			校長・教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員・公務補	計	1 ～ 2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
	普 通	特 別 支 援																	
小平幼稚園	3	-	6	-	-	2	8		9	14	11								34
鬼鹿幼稚園	2	-	5	-	-	2	7		4	5	4								13
おにしかこども園	1	-	2	-	-	-	2	8											8
小平小学校	6	4	14	1	1	2	18					10 (1)	12	10 (1)	14 (1)	15 (1)	21 (5)	82 (9)	
鬼鹿小学校	3	1	6	1	-	2	9					4	4	2 (1)	2	5	6	23 (1)	
小平中学校	3	3	11	1	-	2	14					14 (1)	16 (2)	15				45 (3)	